



あいらい

発行者 真備東中学校区
人権学習推進委員会
事務局 倉敷市真備公民館
倉敷市真備町箭田1685
TEL 086-698-0042

令和8年2月1日(日)

真備・真備東中学校区

合同研修会

まず、児童生徒による人権作文の発表がありました。学校で学んだこと、家族のこと、友達のこと、自分自身のことなど、一人一人が周りの人と向き合い、将来に向けてしっかりと考え、歩んでいる姿が素晴らしいかったです。純粋な人権感覚に私たち大人も学ぶところが多かったです。

後半は、京都フィールドワークへの参加報告がありました。建築や庭園、芸能等の優れた伝統的文化や歴史について学びました。



人権作文発表者

真備陵南高等学校	3年	田村千華	「こころ」を知りたい
真備陵南高等学校	1年	飯田昌翔	きっかけ
岡田小学校	6年	長谷咲穂	いつもありがとう
箭田小学校	4年	清水太賀	初めての福祉
真備東中学校	2年	大城功己	好きなものを好きなままで
真備中学校	3年	平松俊斗	大切な友

いつもありがとう

岡田小学校 長谷 咲穂

反抗期とは、「他人の指示に対しての拒否抵抗、反抗的な行動をとることの多い期間のことである。」と辞書に書いてあったが、まさしく私のことだ。毎回ではないが、反抗したくなる気持ちがこみ上げ、あまのじゃくな態度をとったことに自分の中で後悔したり、モヤモヤした気持ちを繰り返したりしながら過ごすことが多くなった。相手に対して、悪いことをしたなど冷静に考えられる時もあるけれど、なかなか止められない。

「今日もお母さんとケンカしたんか？」重苦しい空気を察したのか、仕事から帰って来た父に尋ねられた。「うん。ケンカじゃないんだけど。」と、歯切れの悪い返答をした。

私はゲームが大好きだ。時間を決めてゲームをするという約束を破って長時間ゲームをしてしまう。悪いことだと分かっているけど、

「いつまでゲームしとるん？ゲームばっかりしとったら目が悪くなるよ。」と、母が口うるさく言ってくるので、「うるさいなあ。今ゲームに集中してるんよ。話しかけんで。」と、強い口調で言い返したのと同時に、母のさみしそうな表情が目に見え込んで来た。

いつもなら倍返しで言うてくるはずが、今日は黙ったままだった。こんなふたりを見かねた父は、私に向かって、

「あのなあ、咲穂。お母さんがなんで何度も言うか分かる？お母さんの言葉の意味をよく考えたら、きっと分かるよ。」と、おだやかに話しかけてきた。

自分でも不思議なくらい、父の言葉が胸に刺さった。今すぐにも、母に謝りたい気持ちでいっぱいになった。

「お母さん、ごめんさい。」少し恥ずかしい気持ちもあつたけれど、母の目を見て、素直に謝ることができた。謝る前から静かに泣いていたのだろう。母の目は真っ赤になっていた。

「分かってくれたらいいんだよ。お母さんの方こそ、ごめんね。最近特に、ささいなことでもうるさく注意ばかりしとるよね。あとで毎回、反省してるんよ。お母さんも咲穂ちゃんぐらいいの時、よく反発しとったなって思い出したわ。」と言って涙をぬぐった。

今回のことがきっかけで、私は今まで以上に母といろいろな話をすることになった。今でも母と衝突することはあるけれど、話し合いのなかで、お互いの気持ちに寄り添い、反抗することも少なくなった。むしろ、笑顔が増えて、「ありがとう」という言葉が自然に出てくるようになったと思う。

私の家族は三人家族。私のことを大事に思ってくれるお母さん。そのことに気づかせてくれたお父さん。いつもありがとう。私は父と母のことが大好きだ。

第2回人権教育講演会

手話と私 12月7日(日)
～たくさんさんのありがとうを込めて～

厚生労働大臣公認手話通訳士 井上 宏美 先生

聴覚に障がいがある両親のもとに生まれ、幼い時から手話を使ってこられた先生。常に笑顔を絶やさず、優しい口調で体験に基づいたお話をしてくださいました。手話は手の動きだけで伝えるものと思っていましたが、動作の大きさや表情、そして、顔と顔を合わせて初めて伝わるのだということ学びました。「手話には心と心を通わせる、そんな魅力がある。聞こえない人と聞こえる人をつなぐ『結(ゆい)』としてももう少し頑張ろう。手話と出会えてありがとう。」と感謝の言葉で、最後締めくくられました。



(手話で「ふるさと」を一緒に歌いました)

参加者の感想

- ・手話の魅力がとても伝わった講演会でした。先生の表情がとても豊かです。とても良かったです。
- ・今日の講演は大変おもしろく、ためになりました。人間は言葉(発声)でしか意思や感情を伝えられないと思っていたので、手話が言葉の代わりになり、ちゃんと伝わることがわかり、すごいなと思った。

倉敷市まびの道との ふれあい交流会

令和8年
1月21日(水)



「倉敷市まびの道」は就労継続B型事業所です。事業所でどのようなことをしているのかを知っていただくために、通所されているメンバーさんと一緒に作業を体験しました。



自動車部品やろうそくの組み立て、ネジの封入の3つの作業を体験しました。どれも丁寧かつ速さが求められます。集中力と根気が必要で、見た目以上に大変な作業でした。



作業後には、メンバーさんと職員の方々による銭太鼓の披露もありました。酒賀所長さんから事業所の詳しい説明もあり、より理解を深めることができました。

菌幼稚園

焼き芋パーティー

11月12日(水)

菌地区まちづくり推進協議会「みその体験学習班」の方々にお世話になって、ふれあい農園で菌小の1・2年生と一緒に、6月にさつま芋の苗植えをし、10月に芋掘りをしました。

その時に収穫した芋と園児が拾い集めた落ち葉も使って、「焼き芋パーティー」をしました。

焼きたてでほくほくのさつま芋をほおぼり、園児や未就園児、参加くださった方々から「美味しい。」「美味しい。」と口々に声が上がりました。幸せそうな笑顔がいっぱい見られたひと時でした。



人権ポスター・標語 展示

11月21日(金)～11月27日(木)「まびふれあい公園 多目的室」、11月29日(土)～12月10日(水)「真備公民館 ロビー」において、真備町内の小・中学校から募集した人権作文と人権標語を展示しました。

今年は多くの方に見ていただきたいと思い、「まびふれあい公園」でも展示をしました。公園に遊びに来られた家族連れや研修に来られた団体の方にも見ていただく機会が作れましたが、もっとたくさんの方にも見ていただけるよう、工夫していきたいと考えています。



人権コーナー (真備公民館内)



公民館1階ロビーに人権コーナーを設けています。

真備・真備東中学校人権学習推進委員会の活動の様子を紹介した掲示物や人権に関する書籍を置いています。

書籍は現在36冊です。絵本、小中学生や一般を対象とした本などがあります。自由に閲覧できます。貸し出しも行っていますので、ご利用ください。



令和7年度 人権ポスター・人権標語優秀作品

人権ポスター優秀作品



川辺小 2年 吉田 一隆



川辺小 5年 井川 凜



岡田小 1年 菊島 里桜



岡田小 6年 井上 旺



川小 1年 河田 千尋



川小 6年 三海 胡香



真備東中 1年 原田 希



真備東中 3年 笹藤 百花



真備東中 2年 粘原 希美

人権標語優秀作品

川辺小学校

- 1年 井川 莉音 ありがとう みんなにこにこ うれしいな
5年 平野 愛莉 思いやり あふれる友情 かがやく笑顔

岡田小学校

- 3年 大西 晴陽 うれしいな 友だちからの おもいやり
5年 佐野 梨音菜 心から 相手に伝わる あいさつを

川小小学校

- 1年 浅野 桜哉 おもいやり ひとつでこころが ほかほか
6年 橘崎 皇愛 友達と 手と手取り合い 笑顔の輪

真備東中学校

- 1年 花田 莉緒 手を取って みんなで作ろう 笑顔の輪
2年 川辺 龍也 見ないふり やめて刈り取る 差別の目
3年 井口 桑南 「ごめんなさい」 心の傷は 治らない

倉敷市人権ポスター 優秀賞



岡田小 6年 守屋 杏南

広報紙「であい」は、まちづくり推進協議会の皆様のご協力により、配付しております。